

コースの学生としての責務とその先にあるもの

経済学部経済学科 木村脩人
(和歌山県立 那賀高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

バレーボール部に所属し、部活動に全力で取り組んでいました。しかし、勉強面についてはさぼっていたといわれても仕方がない有様で、成績も評定もかなり低かったです。当然のように、第一志望の大学には落ちてしまい、大阪産業大学に入学することになりました。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大阪産業大学への入学が決まってから、HP で上級キャリアコース(以下、上キャリ)の存在を知りました。そこには、コース所属学生の ERE(経済学検定)や TOEIC における好成績や成功体験さらには一流企業への就職実績が掲載されていました。第一志望の大学に入学できなかった焦りもあり、気持ちを切り替えて頑張らなければという思いが強かったことから、迷わずコースに参加することを決めました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

厳しくないといえば嘘になりますが、そこまで厳しくはないと思います。テストは講義をしっかりと聴き、復習をし、定期的に友人や先輩と議論を重ねていれば好成績を取れるはずです。つまり、この種の基本的な努力を4年間継続できるのであれば大丈夫でしょう。一方で、何かといえば言い訳をしたり、持続力のない人については、コースに居場所はないと思います。早晩コース離脱勧告を受けることになるでしょう。

私も高校時代は勉強をさぼっていましたが、気持ちを切り替えて頑張りました。結果として、テストでは何度も1位になりましたし、ERE ではA+の成績を実現することもできました。コースへの参加を不安に思う人も多いとは思いますが、ラストチャンスに賭ける覚悟を持って参加すれば大丈夫です。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

継続的に努力できる人やコミュニケーション能力がある人です。上キャリでは ERE をはじめとしたいくつかの試練・ノルマがありますが、それらをクリアするためにはこつこつと日々勉強することにくわえ、同輩・先輩との勉強会や彼らからの情報収集が欠かせないためです。実際、上キャリで高い学業的成果や就職実績を残しているのは、この両方を満たすタイプです。現時点で、両方を満たしている必要は必ずしもありませんが、コースに参加した瞬間から求められる資質だと思ってください。

一方で、コースの学生としての責務を果たせない・果たさない者は戦力になりませんの

で、活躍できないどころか所属し続けることもできません。上キャリアは、厳しい競争原理に基づく組織であることを忘れないでください。

5. 上級キャリアコースの強みは？

一流企業に就職した OB・OG とのコネクションを築けることや、同じ志を持った仲間と切磋琢磨できることだと思います。後者に関連して付言すると、コースにはやる気のある者しかいませんので、本気で頑張る人にとっては本当に素晴らしい環境だと思います。

あと、これは強みなのかどうかはわかりませんが、上キャリアでは学生同士の仲が良いのはもちろんのこと、先生と学生も本当に仲良しです。だから、実はめっちゃ楽しいです。恐らく、1つの目標に向かって共に真剣に挑み続ける結果として、知らず知らずのうちに深い絆が生まれるのだと思います。上キャリアはよく「体育会系勉強部」といわれるのですが、このあたりもその所以かもしれません。みんなで行く合宿も楽しいですよ。

6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

厳しいところもあるが、学生のことを第一に考えている優しい先生だと思います。厳しく感じるのは、他の先生だと見逃してくれるような些細なことでも、決して見逃して欲しくないからでしょうか。なぜ見逃さないのかというと、「よい所を伸ばすのと同様に、悪いところを徹底的につぶしていくことも重要」だからと先生は仰います。

いずれにせよ、付き合っていくにしたがって、実は優しい先生であることは理解できるはずですよ。